

津市の獣害対策の取組

令和2年6月

獣の捕獲檻について

~Vol.31~

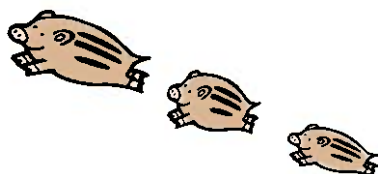
獣を捕獲する捕獲檻は、檻の中に餌を入れその餌付近に針金などで仕掛けを設置し、獣が仕掛けに触れることで扉が落ちる仕組みです。

近年、学習した獣が針金などの仕掛けにあたることなく餌を食べるケースが発生しています。また、針金などを警戒して捕獲檻に入らない獣も多い状況です。

このような状況から獣害対策用品を扱う業者からは、獣が侵入するとセンサーが反応し自動的に扉が落ちるセンサー方式を開発しています。

このセンサー方式は、針金などの仕掛けが一切ないことで獣の警戒感が薄れ捕獲効率が上がると期待されています。

芸濃地域の「林獣害対策協議会」では、高さセンサー、時間センサーを組合せた独自のセンサーを開発しました。現在3基設置し捕獲実証を行っています。開発者の小林事務局長は、まだまだ改良を重ね捕獲効率のアップを目指すそうです。



*** 問い合わせ先 ***

津市農林水産政策課 獣害対策担当

電話 229-3238